

ご紹介賜りました、全日中第35代会長 渋谷区立上原中学校校長、大江近でございます。全国から多数の会員諸氏にご参集頂きありがとうございます。

本日ここに、平成24年度 第63回全日本中学校長会総会を開催しましたところ、文部科学省初等中等教育局長 布村幸彦様、全国都道府県教育長協議会会長代理 東京都教育庁理事 高野敬三様をはじめ、教育関係団体の代表の皆様、全日中歴代会長及び理事の皆様、関係機関の皆様など多数のご臨席を賜りました。まずもってお礼を申し上げます。

本年度、新学習指導要領が全面実施となりました。全国の各中学校におきましては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、3年間という移行期間を経て、万全の準備をして本年を迎えられたかと思えます。

私は昨年5月17日に、ここオリンピック青少年センター大ホールにおいて開催された全日本中学校長会総会の挨拶のなかで、東日本大震災への復興支援、学習指導要領の全面実施に向けての取り組み、全日中教育ビジョンにかかわる実践と評価などについてお話をさせていただきました。

また、全日本中学校長会は教育の実践的専門家集団であること、今年度は「教育改革を目指す全日中」ということを基本理念とし、教育の立場から国家社会の発展に貢献することなどを呼びかけさせていただきました。

ご理解ご協力を頂きました全日本中学校長会役員、理事をはじめ全国の各都道府県校長会の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、私にとっても極めて充実した1年間であったことを報告させていただきます。

特に、平成23年3月11日の東日本大震災は東北3県を中心として、東北地区、関東地区など広い範囲に甚大な被害をもたらしました。たくさんの人々を失いました。たくさんの学校が教育機能を停止しました。しかしその後、学校が地域の避難場所となるだけでなく地域復興の中心としての機能を発揮し少しずつではありますがどの地域も確実に元気を取り戻しつつあります。復興支援について改めて全国の校長先生方に感謝を申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を強く念ずるところです。

さて現在、中央教育審議会において、「第2期教育振興基本計画の策定と具現化」「教員の資質能力の向上」「子供・子育てシステムの検討」「教員養成制度における課題」「特別支援教育の在り方」など、きわめて重い課題が審議され具現化に向けて検討が継続されております。

教員免許状を「基礎免許状」「一般免許状」「専門免許状」の三層構造化する方針の確定や日本的インクルーシブシステム構築における基礎的環境整備や合理的配慮にかかわる項目の抽出などが図られたところです。

中教審の審議においてかならず出てくるキーワードが「教員の資質の向上」であり「学校力の向上」であります。我々には「学び続ける教師の育成」という命題が課せられております。

全日中教育ビジョンが3歳の誕生日を迎えます。全日中教育ビジョンは我々が我々自身につきつけた課題であります。これまでの各都道府県における取組を検証し、組織として課題分析・改善に取り組む時が来たと思えます。

最後になりましたが、これまで全日本中学校長会に対してまして、全面的にご支援を頂いた文部科学省初等中等教育局をはじめ関係各局の皆様、各都道府県教育委員会の皆様、関係団体の皆様、そして全日中OBの皆様に改めて感謝を申し上げ開会の挨拶と致します。